

寄る辺に灯をともしよう

会報 No.2
2011. 12 月



「いま長崎で必要な路上生活者への支援とは…」

との呼びかけで平成21年2月に市民会館で緊急の集いが持たれました。その前年からの世界的金融不況の深まりにより、日本全国において内定の取り消し、派遣切りなどが起こり、県内でも仕事と住む家を失う人々が多数出てくると予測されました。

個人レベルの支接活動ではとても追いつくものではなく、市民が協力して、公的機関と共に必要な支援体制を整えようということで、「長崎・ホームレス支援活動を準備する会」が発足し、同年7月に、「長崎ホームレスを支援する会」と改称して今に至っています。

長崎市内には今なお20名を越すと思われる路上生活の方たちがいます。

私達はこの方々が路上生活から脱してよりよい生活ができるようお手伝いしています。

長崎ホームレスを支援する会

一人の手 何もできないけど みんなと手をあわせれば 何かできる

長崎の現状

私達は、長崎市中心部、東長崎及び大村方面のまだ限られた地域ですが、路上で暮らす人達への支援活動を行っています。「長崎にもホームレスの人が居るのですか」という質問を時々受けませんが、これらの地域でこれまで私達が出会った人達は 20 名を越えていました。

定住されない事情で流動的でもあり、まだ言葉を交わしていない人達を含めると今なお 20 名以上の路上や車上で暮らす方々がおられると思われま

活動の内容

- ◇ 弁当配り 毎週、水曜日早朝、木曜日の夜、日曜日夕方に市内ほか数ヶ所で実施。
 - ◇ 自立支援活動 生活面、健康面での相談を受けて助言や必要な情報を伝える自立支援。
アパート入居された後の生活向上にむけての各種支援。
 - ◇ その他 定例会議等(毎月1回)、総会(年1回)や臨時総会、講演会を実施する。
各種研修会へ参加し会員のスキルアップを図る。
 - ◇ 他団体との連携 セレニティー12 江川館(自立支援施設)、聖ウインセンシオ・ア・パウロ会(慈善団体)、
生活協同組合(グリーンコープ長崎)等の民間団体や市・県の関係機関。
 - ◇ その他のご協力 済生会病院、市内法律事務所のご協力を受けて医療・法律相談会を実施
(2010年)
- ボランティア数 会員、準会員、協力者(弁当づくり)を含め、現在約35名

詳しくは 当会の ホームページで ご覧になれます。

<http://www15.plala.or.jp/nagasakihomeless/>

活動紹介

弁当づくり

木曜日夜、日曜夕方に手渡しているお弁当は会員(協力者)の手作り弁当です。カトリック飽の浦教会、長崎バプテスト教会、日本キリスト教団銀屋町教会、カトリック中町教会、カトリック深堀教会、カトリック東長崎教会の会員が教会や自宅で作っています。お弁当作りの主な費用は会から支出していますが、各教会等でそれぞれに工夫して、心をこめて作っています。

飽の浦教会の弁当づくりをご紹介します。

メンバーは女性8名に送り迎えを担当する男性が2名の10名。

教会に集まり、夕方6時頃から作り始め7時半ぐらいには出来あがりです。

夏の時期は梅干しを炊きこんだり傷みにくいように気を使っています。又、「早めにお食べ下さい」とチラシを添えたりもしています。仕上がりを写真に撮り、参考に残していますが、その後は、お茶や持ち寄りのお菓子などで歓談し、互いに労をねぎらったりします。昨年5月には NBC のテレビ取材を受けたこともありました。



弁 当 配 り

それぞれの曜日のお弁当配りの皆さんの声を紹介します。



午後 10 時、10 数名が出島の海岸近くの駐車場に集まり、前週の状況等について報告を行った後、弁当を持参してそれぞれの巡回場所へと出発します。

木曜日夜に出会う長崎市の路上生活者は 50 歳後半から 70 歳前半までの人が殆どです。働きたいと思っても高齢や対人関係から仕事することが出来ない、借金がある、家があっても自分の居場所がない等、様々な理由から、けだるい暑さの中、厳しい寒さの中、話し相手もなく独り孤独に路上で夜を過ごさなければならない人達です。そのような彼らが自立して行く上での幾らかの手助け、支援になればといつも願いながら、木曜日夜の弁当配りを毎週欠かさず行っています。(Y・I)



公共の発着待合室、朝まだ暗い午前 5 時の開門と共に通勤や旅行の人達に交じって数名の路上生活の人が入っていきます。そこは暖(涼)がとれ、柔かい長椅子もありTVも観られて路上や公園のベンチより遙かに居心地が良く、ひと時こころ安らぐ場所なのです。

6 時頃約 3 名の会員で朝食の弁当とお茶を手渡ししながら体調や近況を尋ねます。穏やかで読書好きなSさん、自分の食事より先に野良猫に弁当をあげる心優しいIさん、寡黙ながら気骨有りげなまだ名も教えてもらえない人等、顔なじみの人を含め 10 数名の人達と出会ってきました。

一日も早く、路上生活から脱してそれぞれに生き甲斐のある人生を歩んでもらうことを願って、お弁当を手渡しています。(M・K)



2010 年 5 月東長崎地区に住む友人から当地域にも野宿生活者が在住している事を教えられました。市内の繁華街ではなく市の郊外、東長崎にも居られる事に意外性を感じながらも、それから約一月後、当会員の S さんと共に初めて野宿者の N さんと S さんを訪問しました。

お二人共川沿いに住んでおられました。N さんは私達との交流 8 ヶ月後の今年 2 月生活保護を受けられ、アパートへ入居しました。残られた S さんへは只今諫早の会員 I さんと共に毎週お弁当を持って訪問しております。

S さんは今年の夏交通事故に遭遇し打撲等の負傷をしたりと、その関わりには数々の厳しさを伴いますが、私達は懸命に S さんに寄り添い共に歩もうと努力する日々です。(Y・T)



自立支援 活動

生活保護を得てアパートに入られた後も、生活のペースをつかむ迄には色々な困難が待ち受けています。一番の問題は仕事を得ることです。
日々ハローワークに通っても、50歳を過ぎると経験や資格は役にはたらず、日雇い労務も若者優先、初老の路上生活者に雇用社会は容赦がありません。挫折と孤独の中で、ギャンブルやアルコール等の依存症に陥る人もいます。人は一人で生きてはいけません。私たちは新たな人生を歩むお手伝いをしたいと考えています。

支援のお願い

当会は、ボランティア及び多くの皆様のご寄付によって運営され活動しております。お一人々のご協力によって支えられていることを心から感謝申し上げます。

〔寄付金〕

寄付金の主な用途：次のような活動費に使わせて頂きます。

- ・弁当作り ----- 食材費
- ・生活支援 ----- 防寒用品(肌着、衣料品等)、その他の生活用品費(在庫が無い場合)食糧品の緊急支援費
- ・緊急宿泊支援 ---- 一時宿泊費
- ・その他 ----- 講演会開催、広報チラシ作成などの啓蒙活動費

〔物品の寄付〕

- ・衣類 防寒着、ズボン、ジャンパー、靴下、寝袋など
- ・日用品 タオル、歯ブラシ、ヒゲソリ、ホッカロンなど
- ・テレフォンカード など

※物品のご寄付は、ご寄付の前に下記の問い合わせ先までお知らせください。

〔寄付金の振込先〕

下記の郵貯銀行の振替口座をご利用願います。

加入者名：長崎ホームレスを支援する会

記号番号：01750-9-87955

払込取扱票										通常払込料金 加入者負担								
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
02	0	1	7	5	0	9	8	7	9	5	5							
加入者名	長崎ホームレスを支援する会										料金	備考						

※ご寄付の際は、加入者負担の別紙「払込票」をご利用ください。

ボランティア募集：とくに昼間に活動して下さるボランティアの方を募集しています。下記までお問い合わせください。ご参加お待ちしております。

お問い合わせ先

- ・携帯：080-2714-8574(宮本) ・携帯メール：nagasaki.homeless@docomo.ne.jp
- ・事務局：095-861-0291 (井手) ・メール：nagasaki.homeless@gmail.com